

PAT-NO: JP401195573A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01195573 A

TITLE: DECENTRALIZED PROCESSORS FOR TRANSFER IN
ORGAN

PUBN-DATE: August 7, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
ADACHI, SUMIKO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
PATOROMA RES KK	N/A

APPL-NO: JP63019863

APPL-DATE: January 29, 1988

INT-CL (IPC): G06F015/30, G07D009/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To quickly and accurately perform transfer procedures in a organ by processing prescribed information stored previously in an IC card in accordance with inputted transfer data and storing the processing result and the transfer data in the IC card.

CONSTITUTION: When the transfer data consisting of transferee data and amount data is supplied to an input means M1, the transfer data is collated with the information on the branch store name code of a transferee bank, the type of deposit, the account number for reception of transfer, etc., which are previously stored in an IC card with relationships secured with each other by a collation processing means M2 and then undergoes prescribed processing. The processing result of the means M2 and the input transfer data are displayed on a display means M3 and stored in the memory part of the IC card via an output means M4. In such a way, only the changed items and the fluctuated data are supplied to the IC card by means of fixed items, etc., already stored in the IC card. As a result, the time required for input of the transfer data is shortened and at the same time the errors of the input data are decreased.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

④日本国特許庁(JP) ④特許出願公開
 ④公開特許公報(A) 平1-195573

④Int. Cl.

G 06 F 15/30
G 07 D 9/00

識別記号

3 6 0
4 3 6

府内整理番号

7208-5B
B-6929-3E

④公開 平成1年(1989)8月7日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

④発明の名称 金融機関における振込の分散処理機

④特 願 昭63-19863

④出 願 昭63(1988)1月29日

④発明者 足立 寿美子 愛知県春日井市妙慶町3丁目70番地の2
 ④出願人 パトロマリサーチ有限 愛知県名古屋市中区千代田2丁目18番17号
 会社
 ④代理人 弁理士 足立 勉 外2名

明細書

1 発明の名称

金融機関における振込の分散処理機

2 特許請求の範囲

金融機関の窓口で顧客が振込をするためのICカードに少なくとも振込先データと金額データとからなる振込みデータを記憶させる振込の分散処理機であって、

上記振込データを入力する入力手段と、

上記振込データに関連付けられて予めICカードに記憶された所定の情報を、上記入力手段によって入力された振込データに応じて参照して所定の処理を行う照合処理手段と、

上記入力手段によって入力された振込データと上記照合処理手段による処理結果とを表示する表示手段と、

上記入力手段によって入力された振込データ及び上記照合処理手段の処理結果をICカードの記憶部に記憶させる出力手段と、

を備えた振込の分散処理機。

3 発明の詳細な説明

発明の目的

[産業上の利用分野]

本発明は金融機関で使用される振込機で、詳しくは、顧客がICカードに振込データを記憶させる振込の分散処理機に関する。

[従来技術]

一般に、金融機関を利用して料金等を受取人に振込む顧客は、振込件数が比較的少ないと、金融機関に備えつけの振込用紙に記入して窓口に持参して振込んだり、あるいは、金融機関の窓口に備えられた振込機を利用して振込んでいる。

[発明が解決しようとする課題]

しかしながら、前者の場合、振込用紙への顧客による誤記入を完全になくすことができないといった課題や、顧客が所定の振込用紙に正しい内容を記入しても、その記入した文字、記号等が所定の形式によらなければ、金融機関の機械で読み取らせたとき読み取りエラーが発生するといった課題があった。後者の場合には、顧客の振込件数が比較

特開平1-195573 (2)

的少ないにもかかわらず顧客が振込に必要な多くの項目を總て振込機を操作して入力するため非常に多くの時間を要する。その結果一人で窓口の振込機を占有する時間が長くなり、他の多くの客を待たせるといった課題がある。

本発明は、上記の課題を解決することを目的としてなされ、振込手続の正確化と迅速化とを提案するものである。

発明の構成

かかる目的を達成する本発明の構成について以下説明する。

〔課題を解決するための手段〕

本発明の振込の分散処理機は、第1図に例示するように、

金融機関の窓口で顧客が振込をするためのICカードに少なくとも振込先データと金額データとからなる振込データを記憶させる振込の分散処理機であつて、

上記振込データを入力する入力手段(M1)と、上記振込データに関連付けられて予めICカー

ドに記憶された所定の情報を、上記入力手段(M1)によって入力された振込データに応じて参照して所定の処理を行う照合処理手段(M2)と、

上記入力手段(M1)によって入力された振込データと上記照合処理手段(M2)による処理結果とを表示する表示手段(M3)と、

上記入力手段(M1)によって入力された振込データ及び上記照合処理手段(M2)の処理結果をICカードの記憶部に記憶させる出力手段(M4)と、

を備える。

ここで、入力手段M1とは、振込データを入力するものであり、例えばキーボードを用いて構成することができる。他に光、磁気を利用したOCR装置、ライトペン、OMR装置等で構成してもよい。

照合処理手段M2とは、振込データに関連付けられて予めICカードに記憶された所定の情報例えば、送り先銀行支店名コード、引金種目、入金口座番号等を、入力手段M1によって入力された

段M2によって処理された結果と先に入力手段M1によって入力された振込データとを表示手段M3によって表示し、更に、出力手段M4によってICカードの記憶部に記憶させる。

〔実施例〕

以上説明した本発明の構成を一層明らかにするために、次に本発明の好適な実施例について説明する。第2図は、本発明の一実施例としての金融機関における振込の分散処理機1を示す斜視図である。本実施例の振込の分散処理機1は、金融機関の窓口で顧客が借り受けて事務所等で給与振込のデータをICカード2に記憶させて、そのICカード2のみを金融機関の窓口に持参して給与振込を行うものである。

図示するように、本実施例の振込の分散処理機1は、振込先データ、金額データ等の振込データを入力するキーボード3、入出力データ及び演算結果等を表示する表示装置(CRT)4を備えた制御部5及び振込データを記憶するICカード2等から構成されている。第3図に示すように制御

振込データに応じて参照して所定の処理、例えば未登録項目を判断する処理を行うものであつて、CPUを用いた算術論理演算回路として一体に構成しプログラムによって実現する構成である。尚、照合処理手段M2は、予めICカードの記憶部に顧客別の振込金額の限度額を登録しておき、入力手段M1によって入力される振込金額とその限度額とを比較して所定の条件によって判断するようにしてよい。

入力手段M1、照合処理手段M2及び表示手段M3をICカード内に設けてもよい。

〔作用〕

上記構成を有する本発明の金融機関における振込分散処理機は、入力手段M1によって金融機関の窓口で顧客が振込む少くとも振込先データと金額データとからなる振込データを入力する。その振込データに関係付けられて予めICカードに記憶された所定の情報を、入力手段M1によって入力された振込データに応じて照合処理手段M2によって参照して所定処理を行う。その照合処理手

特開平1-195573(3)

部ちは、演算処理を行うCPU11と、本実施例の振込処理の制御プログラムを格納するROM13、各データ及び処理結果の読み出しあるいは書き込みを行うRAM15、ICカード2に予め記憶された情報の読み出しあるいは、振込データ及び処理結果をICカード2に出力するICカード用リーダ・ライタ部17とから構成されている。

上述した本実施例の振込の分散処理機1は、キーボード3から入力された振込データに応じて、予めICカード2に記憶された振込に関する諸データを参照して所定処理を行い、その処理結果とキーボード3から入力された入力データとをICカード2の記憶部に出力し、更に、CRT4上に表示する。

そこで次に本実施例の給与振込の分散処理について第4図のフローチャート及び第5図に例示するICカード2の記憶部に記憶される給与振込データ等のファイルフォーマットに基づいて説明する。本実施例の給与振込の分散処理は、処理開始の入力操作によって開始される。先ず、給与振込

マスタ項目は、例えば、第5図に示すように送り先銀行支店名コード67b、送り先銀行支店名稱67c、預金種目67d、受取人名67e、入金口座番号67f等である。ステップ37で先に入力した受取人のマスタ項目をICカード2の記憶部に登録して再びステップ27にもどる。受取人マスタの入力をするか否かを指定し(ステップ27)、その指定を判断して(ステップ29)、先に述べた処理と同様の処理を行う。

ステップ39～ステップ45において、振込データを記憶する処理を行う。給与の振込データの入力をするか否かを指定して(ステップ39)、振込データ69の入力の指定があるか否かを判断する(ステップ41)。振込データ69の入力があるとき1人分の新規、変更、削除等の振込データ69を入力する(ステップ43)。振込データ69は、例えば、受取人コード71a、金額71b、電信・普通の申込71c等である。ICカード2の記憶部に先に入力した振込データ69を記憶する(ステップ45)。ステップ39に戻り他

に記する固定項目61がICカード2の記憶部に登録されているか否かを判断し(ステップ21)、登録されていない場合は、固定項目61を入力し(ステップ23)、ICカード2の記憶部にそれを記憶する(ステップ25)。固定項目61は、例えば、第5図に示すように、振込区分61a、依頼店番号61b、依頼人コード61c、振込予定日61d、振込資金自動引落口座61e、振込指定日61f等である。尚、ステップ21で給与振込に関する固定項目61がICカード2の記憶部に登録されているときはステップ27に進む。

次に、ステップ27～ステップ37において受取人のマスタ65の登録処理を行う。受取人マスタ登録の入力をするか否かを指定して(ステップ27)、入力があると指定されたときは、(ステップ29)、受取人コード67aを入力し(ステップ31)、ICカード2の記憶部に入力されたコードの受取人のマスタがあるか否かを判断し(ステップ33)、未登録の場合は、受取人のマスタ項目を入力する(ステップ35)。受取人の

の振込データを入力するか否かを指定して、振込データの入力の指定があるか否かを判断して(ステップ41)、あるときはステップ43に進み先に述べた処理と同様の処理を行う。無いときは、ステップ47に進み振込データの演算例えば、振込依頼合計件数63a、振込依頼合計金額63b等を演算を行い、ICカード2の記憶部にその演算した結果を記憶して(ステップ49)本処理を終了する。これによって、ICカードに給与振込データが記憶される。

以上説明した処理により、本実施例の振込の分散処理機1は、ICカード2に既に登録された固定項目等を利用して変動項目及び変動データのみICカード2に入力することから、振込データの入力の所要時間が短縮され、更に入力データの数りが減少するという効果がある。また、振込の分散処理機1を金融機関の窓口より借り出して使用することから窓口で振込操作をすることが少なくなり、窓口での混雑が緩和されるという効果がある。また、金融機関での振込業務時間がICカ

特開平1-195573 (4)

ドのデータを利用することによって、非常に短縮されて受取人の口座に振込まれる迄の日数が短縮されるという優れた効果がある。

尚、本実施例の振込分散機1は、ICカード2の固定項目61に振込資金自動引落口座61を登録して、金融機関でICカード2に登録された引落口座61から振込金を引落すように処理している。従って、振込の手間を一層簡略化でき、誤りも生じない。もとより、顧客が、ICカード2と共に振込依頼合計金額63bに相当する金額とを金融機関の窓口に持参して、窓口に備えられた機械に振込むようにしてもよい。この場合、振込1件毎に金額を投入する必要がないので、処理時間の短縮を図ると共に、金銭処理等の手間も軽減することができる。

発明の効果

以上詳述したように、本発明の振込の分散処理機によれば、金融機関の窓口以外の所でも振込データをICカードに正確に記憶させることができるといった優れた効果がある。

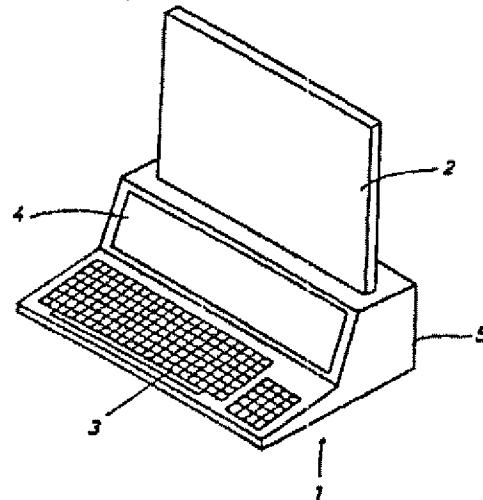
併せて、金融機関が行う振込処理が、顧客の記載した字体等によって誤処理になることもなく、金融機関の窓口で顧客が振込機を占有して他の客を持たせることもないといった優れた効果がある。

4 図面の簡単な説明

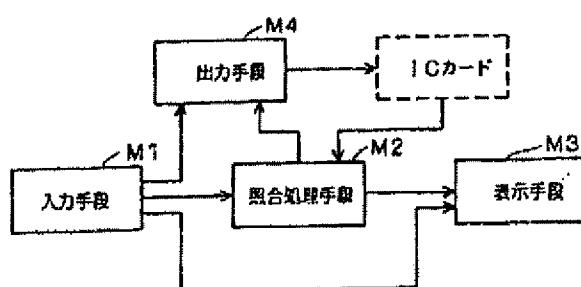
第1図は、本発明の概念を例示する基本的構成図、第2図は本発明の一実施例である振込の分散処理機の構成図、第3図は、本発明の一実施例である振込の分散処理機のシステム構成図、第4図は、本発明の一実施例において実行される処理を示すフローチャート、第5図は、本発明の一実施例であるICカードに記憶するファイルフォーマットを示す説明図である。

M1…入力手段	M2…照合処理手段
M3…表示手段	M4…出力手段
2…ICカード	3…キー ボード
4…CRT	5…制御部
11…CPU	
17…ICカード用リーダ・ライタ部	
代理人弁理士足立勉(ほか2名)	

第2図



第1図

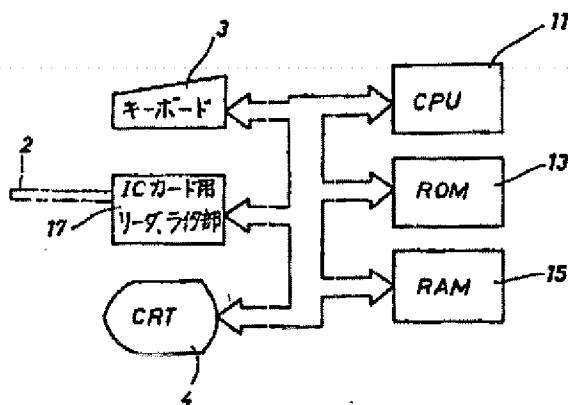


1…振込の分散処理機

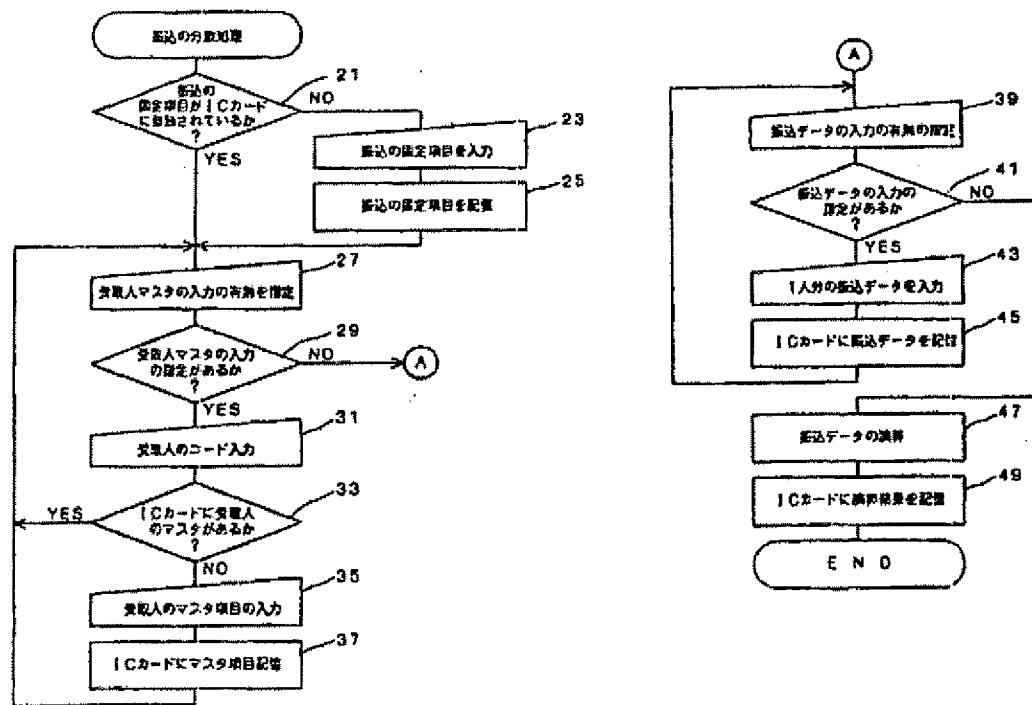
2…ICカード	3…キー ボード
4…CRT	5…制御部

特開平1-195573 (5)

第3図



第4図



特開平1-195573 (6)

61a	端込区分	67	63	65	67	65	67	65	67	65	67	65	67	65	67	65
61b	依頼部番号															
61c	依頼人コード															
61d	端込予定期															
61e	端込資金自動引落口座															
61f	端込指定日															
62a	端込機器会計科目															
62b	端込取扱会計項目															
71a	受取人コード															
71b	1 金預															
72a	普通取扱会計項目															
72b	2 金預															
73a	普通取扱会計科目															
73b	3 金預															
57a	受取人コード															
57b	送り先銀行支店名コード															
57c	送り先銀行支店名称															
57d	預金種目															
57e	受取人名															
67a	入金口座番号															
67b	受取人コード															
67c	送り先銀行支店名コード															
67d	送り先銀行支店名称															
101	預金種目															
102	預金種目															